

横浜市釜利谷地区センター施設運営上の基本方針

釜利谷地区センターは、風光明媚であった金沢八景の一つ「小泉の夜雨」付近にある由緒ある「手子神社」に隣接して建てられています。鎌倉にも近いこの地は戦前までは200戸ぐらいの寒村でありましたが、今では1万7千戸近くまで戸数が増加し、ベッドタウン化した住宅地となっています。しかし、地区センターの近くには金沢自然公園や歴史的遺跡もあり、自然が多く残っている地域でもあります。

センターの特徴としましては団体が4万6千人に対し個人が6万5千人と個人の方が多く利用となっています。このような当センターを利用させていただく方々に、より良いサービスを提供させていただくためには、公平・公正な利用ができるような明確かつ効率的で、また利用者にも納得できるようなルール作りを目指して運営していくことが基本と考えています。

また、サービスの提供者であるスタッフも地域の住民であり、利用者でもあることから、仕事に対する意欲と誠意が持てるような職場の環境づくりも重要と考えています。さらに地域の方々が積極的に参加しやすいような自主事業を企画することも地区センターの役割でもありますので、一層地域に根ざしたコミュニティ施設となるよう心がけていきます。

今後も利用者の視点に立ち、利用者ニーズに応えながら、地域の方々に気軽に気持ちよく利用していただけるような施設にまいります。

地区センター設置の目的

地区センターは幼児から高齢者まで地域住民のだれもが気軽に自らの生活環境向上のため、スポーツ、レクリエーション、学習など自主的な活動を通して、相互の交流を深めることができる場として、また、地域住民の福祉の向上のため、自主事業等を通して自主的な活動を援助するなどコミュニティの形成を促進することを目的としています。